

～会長便り～

先日、「第58回長崎県薬剤師会定時総会」が行われ、4年ぶりに「顕彰祝賀会・懇親会」も開かれました。その席で、「令和4年度厚生労働大臣表彰」を受けられた、佐世保市薬剤師会会員の小出敦子先生の授賞式が執り行われました。大変名誉なことであり同じ会員として先生に敬意を表するものであります。

その席での、小出先生の謝辞がまた素晴らしいお話でした。一部ご紹介いたしますと、「昭和20年から30年にかけて生まれた私達薬剤師はそれまでの薬局業務と違い、処方せん調剤を行いだした初期の薬剤師と言える。それから30年余りたち、ジェネリック医薬品が普及し、一般名処方せんが出るようになり、面分業に移行しました。これからもう少し頑張っ、て、これからの薬局DXの時代を見届けて行きたい。」このような内容だったかと存じます。

処方せん調剤は先輩たちの努力で勝ち取った、と言える歴史があります。その後、小出先生たちの世代の皆さんが私達にその流れを繋いで頂いています。その思いを胸にこれからの新時代に挑戦して行かなくてはなりません。

小出先生はじめ、この度授賞なさった先生方、おめでとうございます。佐世保市薬剤師会としては来年2月11日の祝賀会で再度お祝いしたいと思います。皆様もどうぞその節はご出席ください。6月17日（土）は佐世保市薬剤師会の定時総会です。

～会営薬局運営委員会便り～

長いコロナ禍もようやく収束の兆しが見え始め、感染症の位置づけが5類に移行されるなど、社会全体が少しずつ以前のように戻りつつあります。

新型コロナの感染が最初に広まったときから、3年もの長い歳月が経過したわけですが、変化したのはコロナ過による生活様式の変更だけではなく、私たちの薬業界も大きな変化があったように感じます。長期処方の増加や、受診控えによる処方箋応需枚数の減少は、薬局運営に大きな影を落としました。また、「0410対応」やオンライン服薬指導など、調剤業務の新たな流れが生じるきっかけにもなりましたし、昨今ではリフィル処方箋の導入、医療DXの推進など、今後の薬剤師業務を大きく飛躍させる国の指針が示されました。

これらの流れを追い風として、私たちはその期待に応えていかないとはいけませんが、一方で薬剤師の根本的な任務である医薬品の供給がままならない状況に、

日々頭を悩ませている現状があります。

徒然と思い返したことを書き記しましたが、変わろうとしている世の中のニュースを耳にしながら、私たちはまさに節目を迎えているような気がしてなりません。

6月17日（土）に令和5年度の佐世保市薬剤師会定時総会が開催されます。会営薬局の現況も会員の皆様に報告をさせていただきますので、今後の運営についてのご意見を頂ければ幸いです。万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願い致します。

～定時総会のご案内～

佐世保市薬剤師会定時総会を6月17日（土）18時30分よりアルカスささば3階大会議室にて開催いたします。

また今回も総会終了後の懇親会は中止させていただきます。ご了承下さい。

詳細につきましては別途郵送しておりますので、ご確認お願い致します。

佐世保市薬剤師会 会務報告【5月】

8日	会計監査（東内、蒲池芳、井手、川上）	市薬会議室
10日	常務会	市薬会議室
11日	佐世保市学校保健会理事会（井手、東島 他）	総合教育センター
15日	佐世保市学校保健会総会・懇親会（井手 他）	レオプラザホテル
16日	地域医療支援病院運営委員会（井手）	オンライン会議
17日	理事会	薬国保会議室
18日	佐世保市国民健康保険CKD及びDKD等の対策における意見交換会（河野）	佐世保市役所
22日	デンタルフェスティバル関係団体合同協議会（河野）	歯科医師会館
24日	学薬報告会	薬国保会議室
25日	生涯教育	オンライン研修会